

耐震化率

基幹管路耐震化 進捗状況

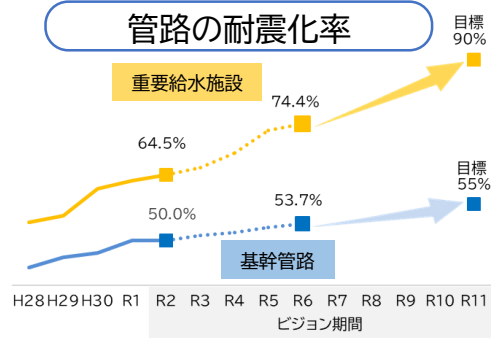
令和4年度末の耐震化率：51.8%

【参考※：令和3年度末時点】

- ・尼崎51.1%（全国平均41.2%）
- ・西宮59.2%、神戸74.9%、伊丹74.6%
- ・芦屋64.8%、宝塚26.9%

※耐震適合率を掲載

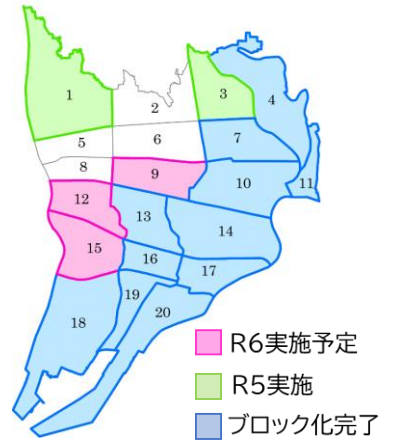
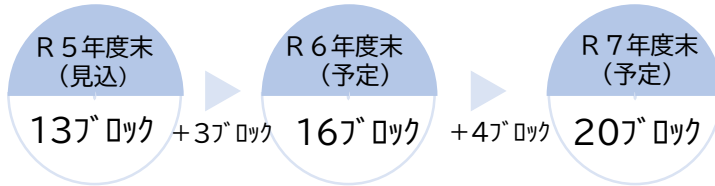
（地盤の性状を考慮すれば耐震性があるもの）



ブロック化の進捗状況と効果

ブロック化進捗状況

ブロック化実施箇所数（累計）



配水ブロック化による効果<災害時>

現状：災害時に漏水が多発した地域へ配水が集中するため、「断水範囲が広範囲」になり、漏水被害が軽微な地域でも「断水が長期化」します。

配水ブロック化後：配水ブロック化によって漏水多発地域を分離することが可能となるため、「断水範囲の局所化」及び「迅速な断水解消」に効果があります。

